

[構造塾] 特別セミナー

プランの絶対条件 — 構造計画の必要性とは? —

全国で[構造塾]を開講されている株式会社M's構造設計佐藤 実社長をお招きし、構造設計の特別セミナーを開催します。これからの建築業界における構造計画の必要性をご講演いただきます。



2020

1/23 (金)

10:00 - 12:00 (9:30開場)

講師

構造塾 塾長 兼 株式会社M's構造設計 代表取締役社長

佐藤 実氏

木質構造を中心とした構造計算・構造設計を行うほか、別組織[構造塾]で構造計算の研修/サポート事業も展開しています。佐藤氏が講師を務めるこの構造塾や企業セミナーは大きな人気を集めており、年間220~230回にも及んでいます。

会場

パーティ とちぎ男女共同参画センター3階 研修室301
(宇都宮市野沢町4-1)

定員

100名

主催 福井コンピュータスマート株式会社

お問い合わせ・お申し込み
はホームページまで

福井コンピュータアーキテクト セミナー 🔍

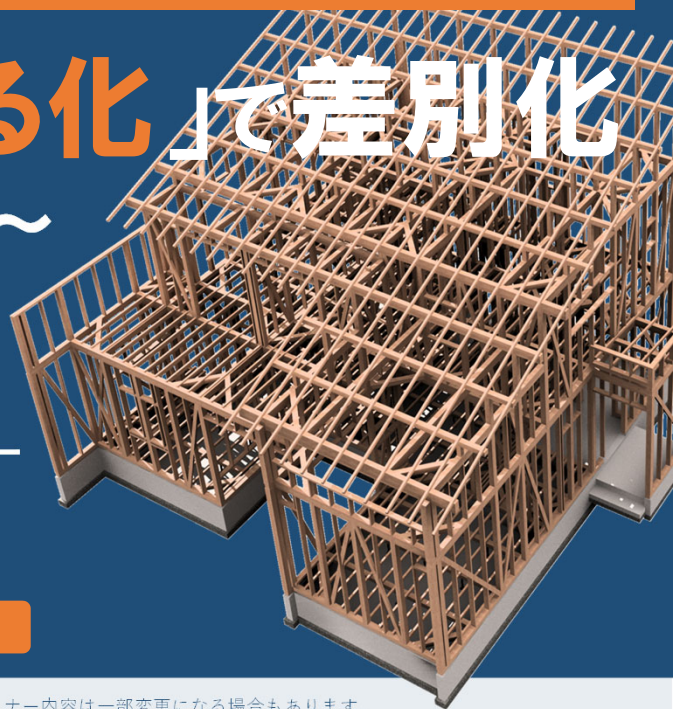
<https://archi.fukuicompu.co.jp/event/>

QRコードで
スマホから
簡単お申込み▶



「耐震性能の見える化」で差別化

～耐震設計は間取りから～



日時

2020年 午後部
1月23日[木] 13:30~15:30
 (受付開始13:00)

会場

パーティとちぎ男女共同参画センター
 (3階 研修室301)
 栃木県宇都宮市野沢町4-1

参加費 無料 / 先着50名様

●セミナースケジュール

※定員になり次第締め切らせていただきます。※セミナー内容は一部変更になる場合もあります。

受付

13:00 ~

第1部

13:30 ~ 14:30

wallstatによる「耐震シミュレーション」とプレカットデータの活用

講師：一般社団法人 耐震性能見える化協会 理事

特定非営利活動法人 シーデクセマ評議会 理事 栄裕一氏

第2部

14:40 ~ 15:30

ARCHITREND ZERO Ver.6による意匠設計段階での構造設計のすすめ

講師：福井コンピュータアーキテクト株式会社 岡本 直樹

地震の度に家屋が倒壊、損傷し、多くの人命が奪われ、被害を少なくするための建築法規の整備、基準の強化が進み耐震性能向上の努力が続けられてきました。しかし、2016年の熊本地震では**1981年以前の建築の旧耐震の木造住宅に加え、新耐震以降に建てられた建物にも被害が生じました**。基準法の壁量計算は最低基準の倒壊防止を目的としており、倒壊は免れても多大な建替え、補修の費用を強いているのが実情です。

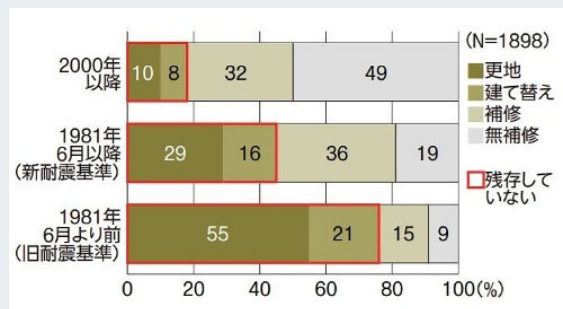
倒壊防止だけではなく、「大地震後も継続使用できる性能等」が施主が求める性能のはずです。

このような現状の中、構造用合板や制振壁、CLTパネルといった耐震性を高める製品がどんどん商品化されています。

これらを使うことでどこまで耐震性が高まるのか、どこにどれだけ配置すれば良いのか、どの程度の地震の大きさまで倒壊しないのかを**プラン段階で事前に把握し、施主に提案する。**

これこそが真のプレゼンテーションではないでしょうか？

【2016年熊本地震から2年後の調査】



■参加お申し込みは【FAX】にて 下記の必要事項をご記入いただきFAX送信をお願いします。

FAX.028-632-9212

福井コンピュータアーキテクト株式会社 行き (担当：岡本)

貴社名	TEL	FAX
ご住所	E-Mail	
申込代表者	人数	<input type="checkbox"/> 午前の部 名様 / <input type="checkbox"/> 午後の部 名様 (申込代表者含む) 構造塾 特別セミナー / 福井コンピュータアーキテクト耐震セミナー

●ご提供いただいた個人情報は、福井コンピュータグループ各社の個人情報取扱い基準である「プライバシーポリシー」に基づき管理させていただきます。「プライバシーポリシー」はグループ各社のホームページ(フタに記載)で確認できます。●個人情報は、「プライバシーポリシー」に記載されている利用目的の範囲内で、守秘義務を負う業務委託先に提供する場合を除いて、承諾なく個人情報を第三者に提供することはありません。●個人情報に関する情報開示のご請求や、修正などのご依頼がありましたら、福井コンピュータホールディングス(株) 情報システム部(ナビダイヤル0570-039-291)、または各社ホームページよりお問合せください。

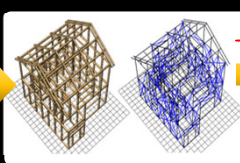
倒壊解析シミュレーション「wallstat」とは？

wallstat（開発者：京大生存研 中川准教授）を使えば、パソコン上で木造住宅の数値解析モデルを作成し、振動台実験のように地震動を与え、最先端の計算理論に基づいたシミュレーションを行うことで、変形の大ささ、損傷状況、倒壊の有無を視覚的に確認することが可能となります。

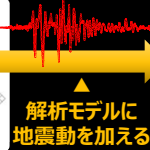
wallstatは無料でご利用いただけます。



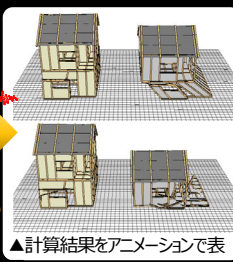
▲対象の木造住宅



▲パソコン上で三次元モデル化



▲解析モデルに地震動を加える



▲計算結果をアニメーションで表



▲損傷状況の表示

損傷 小 ■■■ 大



操作は簡単です！これだけの解析がパソコンであなたにでも使っていただけます。

活用方法 1

■プランニングで使う

お客様のプラン提示の際に、事前に耐震性能を把握することができます。地震の弱い大空間や広い開口、複雑な形状など、お客様の要望に対する的確なアドバイスが可能となります。

活用方法 2

■プレゼンで使う

プラン確定の際に、お客様への耐震性能の説明において「耐震性能が見える化」することで、わかりやすく説明責任が果たせます。数値の羅列では得られないわかりやすさは、お客様との信頼関係にも繋がります。

活用方法 3

■リフォーム・改修でも使える

竣工時の構造図を住宅履歴などで保管しておけば、リノベーション時にも耐震性能を考慮したプランニングが出来ます。また、地震における災害時にも、どの壁が耐震性能が劣化したかがわかるため、補修工事にも役立ちます。

これは使える！

接合金物や耐力壁は、wallstatに対応したメーカーパラメーターを使えば、実際の資材強度で計算もできます。※制振ダンパーやCLTにも対応



意匠段階での耐震チェック機能を強化！「ARCHITREND ZERO Ver6」

●耐震チェック

1階：床倍率が不足している区画があります

直下率チェック

耐震等級チェック

構造チェック

耐力壁仕様と目標等級を選ぶだけで自動判定

意匠検討段階から耐力壁等のバランスを考慮し、耐震等級の検討が可能な新機能「耐震チェック」を搭載しました。

●wallstat連携強化

ARCHITREND ZERO 平面図

木造住宅倒壊解析ソフトウェア wallstat

wallstatデータ書き出し(A)

ダイレクト起動

耐震性が見える化！

平面図からダイレクトに「wallstat」に連携して、耐震性能を視覚的に確認できます。耐震の専門知識を持たない施主にも分かりやすい説明が可能です。

耐震設計はこう変わる！

